



湖北地域のすばらしい 自然を伝えたい

元湖北野鳥センター所長
湖北野鳥の会会長

清水 幸男さん(小谷上山田町)

撮影地:湖北野鳥センター前(湖北町今西)

「野鳥を観察していると感受性が豊かになり、この年になっても感動が湧き上がっています」。清水さんは目を輝かせて語ります。

生まれ育ったのは自然豊かな小谷山の麓。物心ついた頃から川で魚とりをしたり、山で虫をつかまえたりと、とにかく自然の中で遊ぶことが大好きな少年だったそうです。中でも野鳥に興味を持つようになったのは、小学3年生のとき。当時人気のあった伝書鳩を飼い始めたことがきっかけです。「鳥がとても可愛く感じた。その頃から野鳥をよく観察するようになりました」。

湖北の素晴らしい自然の中でみんなと鳥と一緒に楽しめたいと、鳥好きの仲間とともに30歳で「湖北野鳥の会」を立ち

上げ。「湖北野鳥センター」の誘致や建設時には有識者として協力し、完成後は野鳥センターの運営や観察会にも外部委員として携わるなど、その分野の専門家として活躍するようになります。

そんな清水さんに転機が訪れたのは40代半ばの頃。野鳥センターが職員を募集した時、「やりたい仕事ができるチャンスは今しかない!」と決心。27年間勤めた会社を退職し、まさに天職ともいえる野鳥センターの専門員の職に就きます。その後、所長になってからも自然と野鳥の専門家として常に第一線を走り続けます。

数ある野鳥で一番思い入れがあるのは、「山本山のおばあちゃん」の愛称で親しまれているオオワシ。「広大なびわ

湖岸の中で、野鳥センターから見える山本山をめぐらに選んでくれたのは運命を感じる」と目を細めます。しかし、毎年やってくるオオワシはかなりの高齢。「早く跡継ぎとなる若いオオワシが現れてくれれば」と期待をかけます。

野鳥センターを退職した今も、自然に対する情熱は衰えません。地元の小谷小学校を中心に、ツバメの観察会や生き物調査などの授業に携わります。「外に出て自然と触れあうことで、たくさんの発見ができる。長浜の子どもたちには、自然に恵まれた環境を思いっきり楽しんでほしい」と熱く語る清水さん。野鳥と自然の素晴らしさを伝える伝道師として、今日も子どもたちに語りかけます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



アンパンマン大好きのがか!
アンパンマンのようにやさしく元気に
もっともっと大きくなってね。

前川
のかちゃん(平成28年2月生まれ)
(新栄町)

新居
蓮士ちゃん(平成26年8月生まれ)右
蒼大ちゃん(平成28年11月生まれ)左
(宮司町)



元気に大きく育ってくれてありがとう♡いつ
も2人の笑顔に幸せをたくさんもらっていま
す♡これからますます小さくおおきくなってね♡

まちの 人口

平成29年12月1日現在	人口 119,335人	男 58,363人	女 60,972人	世帯数 45,336世帯
平成29年11月中の異動	転入 223人	転出 205人	出生 82人	死亡 121人 婚姻 44件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなどの公共施設にも置いてあります。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報をご希望の人は市民広報課まで。